

長崎：

不屈の都市への賛辞

古い銀杏の木に、葉は青々と茂る
原子爆弾の閃光が炸裂し
歪んだ鋼鉄と砕けたガラスの山の側で

この暗い廃墟で
命は勝利を収めた
灰の上に
新しい緑の蔓がゆっくり伸びていく

自然は愚かな人間の行為を癒す
しかし、大量の兵器は
我々から人間性までも奪ってしまう
そのようなグロテスクな事実を忘れてはならない

長崎：それは、単なる中規模都市なのだろうか？

それとも、多くの障害の中にあっても
人間の精神は丈夫に育つという証なのだろうか？。

悟： 作者は茶化しているのか？

玲亜： さー、ユーモアというのは、戦争の恐怖を消化するための塩のようなものだ。

ミン： 間をおいて、唾を吐き）辛い経験には、消化してはならないものもある。
いくつかの痛みを忘れることがないように、胃の中で腐らせる人もいる。

ティム：（うなずいた）ええ、戦争は苦いものだとすることを忘れてはいけません。

- T Newfields (和訳：吉田典子とテレサ)

開始：1994年 静岡市 ★・完成：2018年 横浜

